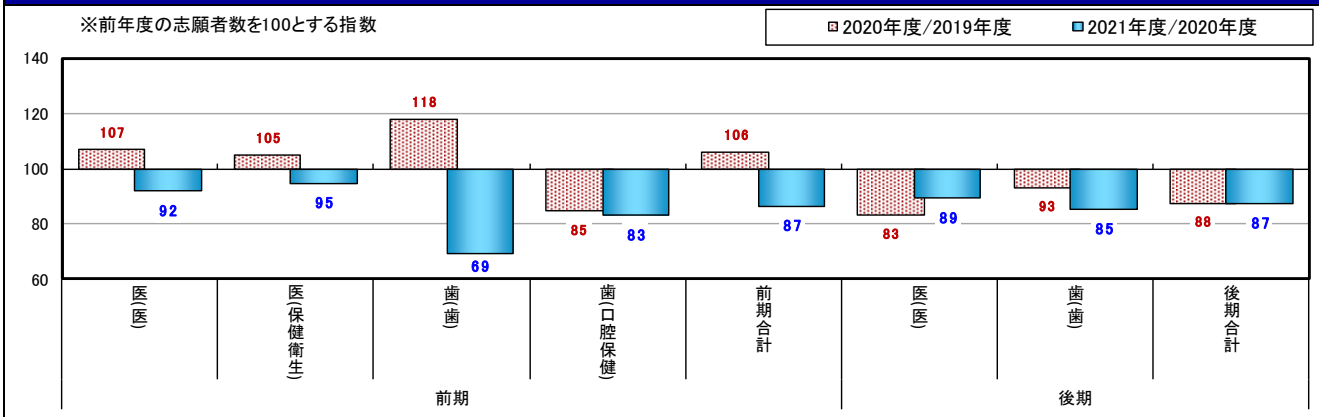
# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

## 東京医科歯科大：前期・後期共に医(医)は減少、歯(歯)は大幅減少　　前期：-102 人　後期：-40 人




| 入試変更点 | 2段階選抜方法：歯(歯)〈後〉…約6倍(通過予定人数：90 人)→約 12 倍(通過予定人数：180 人)<br>※第1段階選抜基準変更<br>募集人員：医(医)〈前〉…81 人→79 人 |
|---|---|

**COMMENT**　※(　　)内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度5年ぶりに増加した反動で 102 人(87)の減少。再び減少に転じた。後期は 40 人(87)の減少で2年連続減少。

〈前期日程〉

○**医(医)(92)**は、前年度増加の反動により減少。募集人員が2人減少したので、志願倍率は4倍台を維持。

○**医(保健衛生)(95)**は、前年度やや増加の反動でやや減少。専攻別では、(保健衛生／看護)(88)は減少で、2年連続減少。一方で、(保健衛生／検査技術)(101)は、前年度大幅増加の反動はなく1人増加で前年度並。

○**歯(歯)(69)**は、前年度大幅増加の反動で30%以上の大幅減少。志願倍率は5.2倍→3.6倍にダウンし、2017 年度以来の4倍を下回った。

○**歯(口腔保健)(83)**は、2年連続大幅減少。志願倍率は2.5倍→2.1倍にダウンし、2011 年度に学科開設以来最低となった。専攻別では、(口腔保健／口腔保健工)(157)は、前年度半減以下の反動で60%近い大幅増加。一方で、(口腔保健／口腔保健衛生)(65)は、2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率は2014 年度以来の2倍を下回った。

〈後期日程〉

○**医(医)(89)**は、前年度大幅減少の反動はなく、2年連続減少。志願倍率も 16.8 倍→15.0 倍にダウン。

○**歯(歯)(85)**は、大幅減少で2年連続減少。志願倍率も 10.0 倍→8.5 倍にダウン。